



本社・工場

## 第56期

# 中間決算のご報告

平成19年8月21日～平成20年2月20日



 **福島印刷株式会社**

〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地  
TEL(076)267-5111(代) FAX(076)267-8065  
URL <http://www.fuku.co.jp/>



C906

### Communication Agent for Market Driven

私たちは常にお客様と同じ視点に立ち、  
エンドユーザーである「市場」を見つめながら  
情報発信をお手伝いするパートナーとして、  
存在価値を発揮してまいります。  
そして、コミュニケーションの背後に生まれる  
『長期信頼』を果敢に追い求めます。

**福島印刷株式会社**

証券コード 7870



ふくしまみちお  
代表取締役社長 福島理夫

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、第56期中間期(平成19年8月21日から平成20年2月20日まで)の営業の概況についてご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、民間設備投資の増加や雇用情勢の持ち直しから、景気は緩やかな回復傾向を示していましたが、当中間期の後半から、米国のサブプライムローン問題や原油価格の高騰による影響が世界規模で拡大し、景気は急速に不透明感を増してきました。

印刷業界におきましては、ネットワーク化に伴う需要量の減少や受注競争の激化に伴う受注単価の下落に加え、原材料価格の上昇などにより、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中で、当社は新商品の「A4ブックUD(ユニバーサルデザイン)メール」、個人情報保護対応の「情報保護はがき」などの販売促進に取り組み、お客様のお客様を意識したソリューション提案型商談スタイルの確立に取り組みできました。また、生産部門では第二工場棟の効率活用、高速8色輪転印刷機及び高速プリンタ設備の早期本格稼働を目指してまいりました。設計部門においても、営業

及び製造部門との連携を緊密に行い、設計力を強化し、つくる前のコストダウンを図る「ポジティブ設計」に取り組みできました。また、当社独自の付加価値指標の利用と共有を推進し、部門別及び分野別の収益管理の徹底を図り、収益力の改善に取り組みでまいりました。

その結果、当中間期の売上高は、前年同期を43百万円(15%)下回る28億3百万円となりました。また、利益面においては、経常利益は前年同期を82百万円(259.5%)上回る1億13百万円、中間純利益は前年同期を15百万円(35.6%)上回る60百万円となりました。

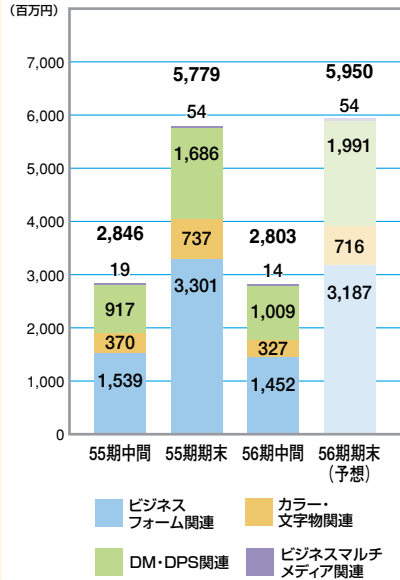
今後の見通しにつきましては、わが国経済は、国内外の需要拡大を反映して持続的成長が期待されるものの、米国景気の減速や原油価格のさらなる上昇も懸念され、予断を許さない経営環境が続くものと予想されます。

このような状況に対し、当社は、独自技術による「ならでは」商品と「ならでは」サービスを開発・創造し、市場ニーズに対応した企画提案活動を推進してまいります。販売面では、売価設定基準の見直しと営業生産性の改善に取り組み、生産面では、フレキシブルな生産体制を確立し

ワークライフバランスの向上を図り、生産効率改善とコストダウンに注力していきます。さらに、お客様のデータプリントサービス業務のアウトソーシングニーズを受託するため、情報セキュリティ体制と品質保証体制のより一層の強化を図ってまいります。また、次年度より適用の内部統制システムの構築に向け、全社をあげて準備を進めており、実効のある「経営の見える化」の取り組みを推進し、企業基盤の強化と企業信頼の拡大につなげてまいります。

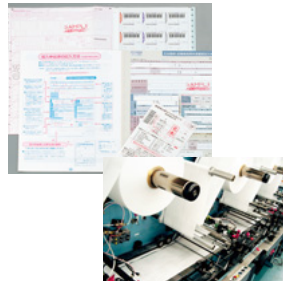
株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

製品別売上高



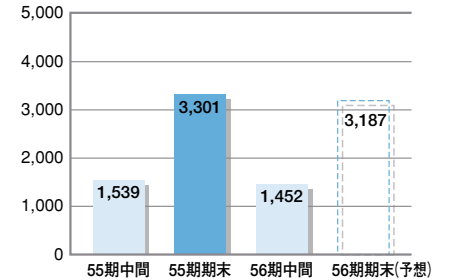
ビジネスフォーム関連

- 複写伝票などの帳票類
- 事務通信
- 情報保護はがき など



ビジネスフォーム関連は、企業のIT化進展に伴う印刷需要の減少傾向が継続しており、相変わらず厳しい受注環境となりました。当社独自技術のプライバシー保護を目的とした「情報保護はがき」関連商品や金融機関及び官公庁向け事務通信DPS(データプリントサービス)が好調に推移したものの、売上高は前年同期を86百万円(5.6%)下回る14億52百万円となりました。

売上高(単位:百万円)



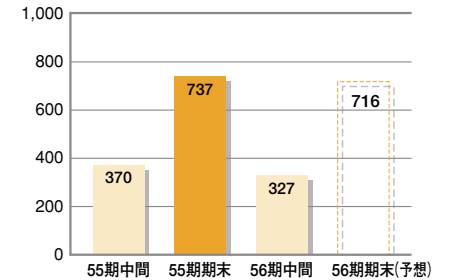
カラー・文字物関連

- 会社案内など広報系印刷物
- カタログなど販促系印刷物
- その他文字物印刷物 など



カラー・文字物等商業印刷分野は、積極的な販売活動を推進しましたが、競争激化による受注単価の下落など受注環境は厳しく、売上高は前年同期を42百万円(11.6%)下回る3億27百万円となりました。

売上高(単位:百万円)



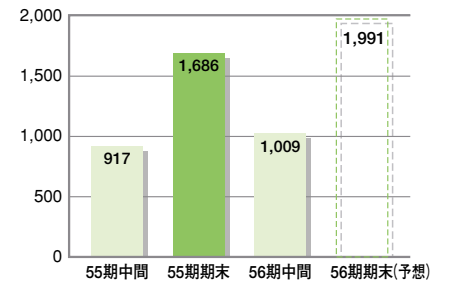
DM・DPS関連

- はがき型ダイレクトメール
- 封書型ダイレクトメール
- One to One データプリントなど



戦略商品の「A4ブックUD(ユニバーサルデザイン)メール」は、市場ニーズをとらえ好調に進展しました。また、プライバシー保護対応のあと糊タイプはがきDM、お客様のお預かりデータを印刷物に出力するDPS業務も堅調に推移しました。その結果、売上高は前年同期を91百万円(10.0%)上回る10億9百万円となりました。

売上高(単位:百万円)



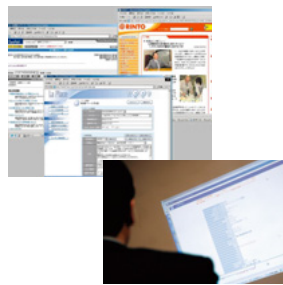
福島印刷の

4分野 シナジー業態

当社はビジネスフォーム(コンピュータ用連続帳票類)を基点に、カラー印刷、ダイレクトメール、事務通信、ビジネスマルチメディアへと事業分野を拡大してまいりました。この4分野の相乗効果により、当社だからこそできる独自性(＝ならでは)を追求しております。

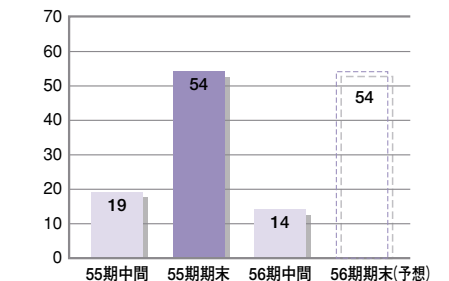
ビジネスマルチメディア関連

- ホームページ
- データベース など



ホームページ、電子カタログ等商品DB(データベース)関連等Web関連商品の拡販に努めたものの、売上高は前年同期を5百万円(27.1%)下回る14百万円となりました。

売上高(単位:百万円)



## 定型外ダイレクトメール新商品の開発

成長を続ける定型外ダイレクトメール市場。好評をいただいている冊子型ダイレクトメール「A4ブックUD(ユニバーサルデザイン)メール」に続く新商品として、「メールオーダーUD」を開発いたしました。「メールオーダーUD」は通信販売における情報告知～注文までの流れを意識したダイレクトメール。アピール力の高い広告面・複写式申込書を一体化し、試供品の同梱も可能としたオールインワンタイプの定型外ダイレクトメールです。



■当社「ならでは」新商品・メールオーダーUD

## セキュリティ体制の進化

より強固なセキュリティ体制のために、以下の点を改善いたしました。お客様監査でも高い評価をいただいております。

### ◎DPS(データプリントサービス)部門のネットワーク切り離し

重要情報を扱うDPS部門を、他部門のネットワークから完全に切り離しました。

### ◎BM(ビジネスマルチメディア)ポータルセキュリティ強化

重要情報のダウンロード先を受渡専用サーバーに限定しました。

### ◎媒体取扱専用室の設置

重要情報を扱う閉鎖エリアに媒体を持ち込まない体制を確立しました。



■厳重な出入管理体制の媒体取扱専用室

## 第6回 かなざわエコ大賞 奨励賞受賞

平成18年7月に竣工した第二工場の建設にあたり実施した、環境に関する施策・取組みが評価を受け、平成19年12月「第6回 かなざわエコ大賞」奨励賞を受賞しました。



■環境に配慮し建設された第二工場(写真左)

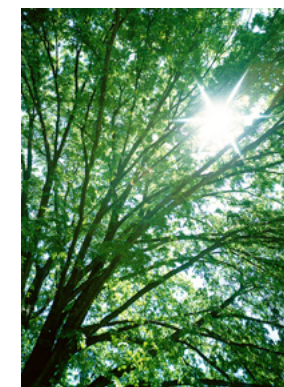
### 【主な取組み】

- ◎プレキャスト工法の採用
- ◎騒音対策
- ◎工場排出空気還流による空調効率向上
- ◎屋上緑化による冷房負荷軽減
- ◎インキミスト除去装置設置による室内空気清浄度の維持 など

## 森林認証の取得準備が完了しました

環境配慮に対する社会的ニーズが高まる中、一層の信頼醸成を目指して、森林の保護と持続的利用を目的とした「森林認証」の現地審査を完了しました。これは適切に管理された森林から切り出された木材を使って製品が造られていることを証明するものです。また、森林認証紙を使用することによって、お客様が森林保護支援に注力している姿勢をアピールすることが可能になります。

※4月中に正式に認証登録される予定です。



■森林認証は、「適切な森林管理」を認証する制度です

■ 中間貸借対照表

科目	単位:千円	
	当中間会計期間末 (平成20年2月20日)	前中間会計期間末 (平成19年2月20日)
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>	<b>2,265,527</b>	<b>2,107,829</b>
現金及び預金	683,707	547,783
受取手形	416,298	419,735
売掛金	768,301	742,474
たな卸資産	320,810	321,725
繰延税金資産	71,480	71,543
その他	5,995	8,324
貸倒引当金	△ 1,066	△ 3,757
<b>固定資産</b>	<b>4,461,652</b>	<b>4,770,476</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>4,201,593</b>	<b>4,509,968</b>
建物	1,906,525	2,056,246
機械及び装置	1,246,183	1,080,713
土地	965,106	965,106
その他	83,778	107,902
建設仮勘定	—	300,000
<b>無形固定資産</b>	<b>6,353</b>	<b>8,043</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>253,705</b>	<b>252,464</b>
投資有価証券	106,505	120,135
その他	153,842	134,406
貸倒引当金	△ 6,642	△ 2,077
<b>資産合計</b>	<b>6,727,180</b>	<b>6,878,305</b>

科目	単位:千円	
	当中間会計期間末 (平成20年2月20日)	前中間会計期間末 (平成19年2月20日)
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>	<b>1,420,972</b>	<b>1,533,702</b>
買掛金	206,774	226,792
短期借入金	370,000	470,000
1年内返済予定の長期借入金	355,920	312,720
未払法人税等	86,888	75,822
賞与引当金	116,355	108,343
役員賞与引当金	5,000	6,426
その他	280,032	333,599
<b>固定負債</b>	<b>1,578,811</b>	<b>1,684,301</b>
長期借入金	1,445,380	1,540,900
繰延税金負債	78,773	62,807
退職給付引当金	—	20,416
役員退職慰労引当金	54,658	60,177
<b>負債合計</b>	<b>2,999,783</b>	<b>3,218,004</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>	<b>3,722,928</b>	<b>3,647,716</b>
資本金	460,000	460,000
資本剰余金	285,200	285,200
資本準備金	285,200	285,200
利益剰余金	2,977,728	2,902,516
利益準備金	96,200	96,200
その他利益剰余金	2,881,528	2,806,316
固定資産圧縮積立金	172,153	172,153
別途積立金	2,605,000	2,555,000
繰越利益剰余金	104,375	79,163
<b>評価・換算差額等</b>	<b>4,467</b>	<b>12,585</b>
その他有価証券評価差額金	4,467	12,585
<b>純資産合計</b>	<b>3,727,396</b>	<b>3,660,301</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>6,727,180</b>	<b>6,878,305</b>

(記載金額は千円未満切捨)

■ 中間損益計算書

科目	単位:千円	
	当中間会計期間 (自平成19年8月21日 至平成20年2月20日)	前中間会計期間 (自平成18年8月21日 至平成19年2月20日)
売上高	2,803,666	2,846,773
売上原価	2,032,348	2,148,097
売上総利益	771,317	698,676
販売費及び一般管理費	649,055	658,955
<b>営業利益</b>	<b>122,262</b>	<b>39,721</b>
営業外収益	10,726	11,185
営業外費用	19,010	19,203
<b>経常利益</b>	<b>113,978</b>	<b>31,702</b>
特別利益	131	54,118
特別損失	1,457	347
<b>税引前中間純利益</b>	<b>112,651</b>	<b>85,474</b>
法人税、住民税及び事業税	81,000	70,500
法人税等調整額	△ 28,955	△ 29,721
<b>中間純利益</b>	<b>60,607</b>	<b>44,695</b>

(記載金額は千円未満切捨)

■ 中間キャッシュ・フロー計算書

科目	単位:千円	
	当中間会計期間 (自平成19年8月21日 至平成20年2月20日)	前中間会計期間 (自平成18年8月21日 至平成19年2月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	272,076	521,265
投資活動によるキャッシュ・フロー	53,062	△ 161,905
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 207,873	△ 136,114
現金及び現金同等物の増加額	117,265	223,245
現金及び現金同等物の期首残高	475,902	240,297
現金及び現金同等物の中間期末残高	593,167	463,543

(記載金額は千円未満切捨)

■ 株主資本等変動計算書

(平成19年8月21日～平成20年2月20日)

	株主資本						株主資本 合計	評価・換算 差額等
	資本金	資本 剰余金	資本 準備金	利益剰余金				
				利益 準備金	その他利益剰余金			
			固定資産 圧縮積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金		その他 有価証券 評価差額金	
平成19年8月20日残高	460,000	285,200	96,200	172,153	2,555,000	123,768	3,692,322	12,287
中間会計期間中の変動額								
剰余金の配当						△ 30,000	△ 30,000	
別途積立金の積立					50,000	△ 50,000	—	
中間純利益						60,607	60,607	
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)								△ 7,820
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	50,000	△ 19,393	30,607	△ 7,820
平成20年2月20日残高	460,000	285,200	96,200	172,153	2,605,000	104,375	3,722,928	4,467

(記載金額は千円未満切捨)



■ 役員 (平成20年4月30日現在)

代表取締役社長	福島 理夫	取締役	栗津 十志実
専務取締役	下 島 学	取締役	古 林 孝之
常務取締役	舘 芳 昭	常勤監査役	岩 見 隆史
		監査役	中 野 弘 史

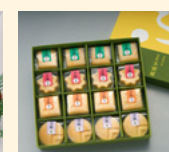
■ 会社の概要

商 号	福島印刷株式会社
英 文 名	FUKUSHIMA PRINTING CO.,LTD.
本店所在地	〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地 TEL (076)267-5111(代)
設 立	昭和27年9月10日
資 本 金	4億6,000万円
従 業 員 数	386名
事 業 所	本社及び工場 金沢市佐奇森町ル6番地 富山営業所 富山市上袋715番地1 福井営業所 福井市間屋町3丁目811番地 東京営業所 東京都中央区日本橋本町4丁目5番14号 入江ビル6F 大阪営業所 大阪市中央区平野町3丁目3番8号 辻梅ビル3F 名古屋営業所 名古屋市中区金山1丁目2番2号 クマダ第2ビル5F

事業年度	8月21日から翌年8月20日まで
定時株主総会	11月
基 準 日	定時株主総会 8月20日 期末配当 8月20日 中間配当 2月20日 その他必要があるときは、予め公告して定めた日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	[郵便物送付先] [電話照会先] 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 証券代行事務センター(〒168-0063) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店 (お知らせ) 住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。 ●フリーダイヤル 0120-87-2031(24時間受付:自動音声案内) ●ホームページ <a href="http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html">http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html</a>
単元株式数	100株
上場証券取引所	名古屋証券取引所
公 告 方 法	電子公告により当社ホームページ ( <a href="http://www.fuku.co.jp/">http://www.fuku.co.jp/</a> ) に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法とします。
株主優待制度	8月20日基準日現在1,000株以上の株主を対象に、3,000円相当の自社指定特産品4品から1品を、ご希望に応じて送付。 平成19年優待品



金沢五郎島金時



「不室屋」  
宝の麩詰め合わせ



能登和牛すき焼き用肉



「直源醤油」  
調味料詰め合わせ